

- 問1 ヨーロッパの主要な都市であるパリ、アテネ、ヘルシンキの気候を比較したとき、パリで見られる西岸海洋性気候の気温と降水量の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 冬の月平均気温が氷点下まで下がり、一年を通じて降水量は非常に少ない。
 2. 夏は気温が高く乾燥し、冬にまとまった雨が降るが、一年を通じて気温は高い。
 3. 一年中気温が高く、雨の非常に多い季節と全く降らない季節がはっきりと分かれている。
 4. 冬でも月平均気温が5度程度あり、年間を通じて降水量の差が少なく安定している。
- 問2 イタリアなどの地中海沿岸で見られる気候は、その降水パターンの特徴を活かした農業が行われています。この気候における降水量の特徴として正しいものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 一年を通してほとんど雨が降らない
 2. 夏季に雨が少なく、冬季に雨がが多い
 3. 夏季に雨がが多く、冬季に雨が少ない
 4. 一年を通して平均的に雨が降る
- 問3 地中海沿岸の地域で行われている農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの果樹を栽培し、冬の降水を利用して小麦などを栽培する。
 2. 偏西風と暖流の影響で一年中雨が多いため、家畜の飼育と穀物栽培を組み合わせた混合農業を行う。
 3. 夏の高温多湿な気候を利用して、一年に二回稲を栽培する二期作を大規模に行う。
 4. アルプス山脈などの高地において、夏は山の上で、冬はふもとで家畜を飼育する移牧を行う。
- 問4 イタリアを含む多くのヨーロッパ連合（EU）加盟国が、自国の独自の通貨を廃止して共通通貨「ユーロ」を導入した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 三重県公立入試 類似）
1. 国ごとの為替相場の変動による経済的なリスクをなくし、域内の貿易を活性化させるため
 2. 全ての加盟国がイギリスの通貨であるポンドに統一することで、金融市場を安定させるため
 3. ヨーロッパ以外の地域との貿易を制限し、域内だけの鎖國的な経済圏を作るため
 4. 加盟国が独自に通貨を発行する権利を強化し、各国の経済的自立を促すため
- 問5 地中海沿岸に位置するスペインにおいて、オリーブの生産が世界最大となっている理由を、気候の特色と関連付けて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
1. 偏西風と北大西洋海流の影響で夏が涼しいため、冷涼な気候を好むオリーブの生育に適しているため
 2. 一年を通じて降水量が多いため、水を大量に必要とするオリーブの多期作に適しているため
 3. 夏の乾燥に強いというオリーブの特性が、夏に雨が少なく乾燥する地中海性気候の特色と合致しているため
 4. 夏に季節風の影響で高温多湿となるため、熱帯性の植物であるオリーブの栽培に有利であるため
- 問6 ロシアの領土において、ヨーロッパとアジアを分ける境界となっている山脈と、その東側のシベリア地方から極東にかけて広がる広大な針葉樹林の名称の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. ウラル山脈 ―― タイガ
 2. ウラル山脈 ―― ツンドラ
 3. アルプス山脈 ―― ツンドラ
 4. アルプス山脈 ―― タイガ
- 問7 EU（欧州連合）の加盟国間では、国境を越えて移動する際、まるで一つの国の中にいるかのようにスムーズに行き来できる仕組みが整っています。このような状況を可能にしている、国境でのパスポート検査を原則として廃止した取り決めと、多くの加盟国で導入されている共通通貨の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 安全保障条約とユーロ
 2. シェンゲン協定とユーロ
 3. 経済連携協定とポンド
 4. 関税同盟とドル
- 問8 各国の電源構成において、発電量全体に占める割合がフランスでは原子力が約七割弱と最も多く、日本では火力が約七割弱と最も多くなっているという統計があります。このようなフランスと日本の電源構成の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. フランスは水力発電が電源の約七割を占めるが、日本は原子力発電を最も主要なエネルギー源としている。
 2. フランスは火力発電を主な電源としているが、日本はアルプス山脈のような地形を活かした水力発電が中心である。
 3. フランスは原子力発電を主力としているが、日本は石炭や天然ガスなどを用いる火力発電を主力としている。
 4. フランスと日本はともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーが発電量の七割以上を占めている。
- 問9 ドイツでは、環境対策として再生可能エネルギーの導入を積極的に進めており、発電電力量に占めるその割合は四割を超えています。ドイツがこのようなエネルギー政策を推進し、特に原子力発電の割合を三パーセント以下にまで低下させてきた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 欧州連合（EU）の共通政策により、すべての加盟国に対して原子力発電所の即時停止が義務付けられたため。
 2. 環境政党の台頭や福島第一原発事故の影響を受け、脱原発と再生可能エネルギーへの転換を国策として決定したため。
 3. 北海における大規模な海底油田の掘削に成功し、火力発電の燃料を安価に自給できる体制が整ったため。
 4. 国土の大部分が急峻な山岳地帯であり、豊富な水資源を利用した水力発電が電力供給の柱となったため。
- 問10 ギリシャなどの地中海沿岸では、伝統的に「石」を材料とした住居が多く見られます。このように石づくりの家が普及した背景や理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 地震が非常に多いため、日本の伝統的な建築と同様に、しなやかさを持つ石材が重視された。
 2. 夏の乾燥により樹木が育ちにくく木材が貴重な一方で、身近で石材が手に入りやすく、断熱性にも優れていたため。
 3. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで建物が倒壊しないよう、強固な石の柱で支える必要があったため。
 4. 一年を通じて降水量が多く、木材が腐敗しやすいため、耐久性の高い石が選ばれた。
- 問11 北ヨーロッパのスカンディナ비아半島西側に位置し、首都をオスロに置くノルウェーの自然環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
1. 氷河によって削られたU字谷に海水が入り込んで形成された、フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線が見られる。
 2. バルト海に面した東側の海岸線は単調であり、冬には海面が完全に凍結するため船舶の航行が困難になる。
 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯に属しており、現在も活発な火山活動によって多くの温泉が湧き出している。
 4. 国土の大部分が平坦な低地であり、ステップと呼ばれる樹木の少ない乾燥した草原が広がっている。
- 問12 ヨーロッパ北部のスカンディナ비아半島にあるノルウェーの沿岸部では、海岸線が複雑に入り組んだ地形が発達しています。この地形は、氷河によって削り取られた鋭い谷に海水が深く入り込むことで形成されましたが、このような地形を何と呼びますか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. フィヨルド
 2. リアス海岸
 3. デルタ（三角州）
 4. カルスト地形